

プロジェクト報告書

団体名 自立援助ホーム 島添ホーム

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

- ①備品整備事業
- ②アフターケア

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

- ①備品整備事業 カメラ購入：ホーム専用のカメラがないため、必要に応じて同法人の児童養護施設から借用しているが、急に必要な場合や児童養護施設と行事が重なる場合、借りる事ができないので不便をきたしている。洗濯機購入：老朽化で修理が度々発生する状況です。
- ②アフターケア： 県外に就職した退所者の状況に合わせてアフターケアを実施できたらと思います。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

ホームで生活した証しを記録に残して、利用者の自立の励みになればと思い、アルバムを作成しています。これまでは同法人の児童養護施設からカメラを借用していましたが、ホーム専用を購入していつでも写真が撮れるようにしたいと考えています。

洗濯機は、利用者が個々で使用するのでその頻度が高く老朽化し修理が度々発生したりする現状なので、新しく買い替えたいと考えています。

アフターケアについては、地理的・費用的な面からなかなか細やかなケアが実施できない状況にあります。職員研修で出張した際に尋ねて行く等、これまではアフターケア単独で計画することはありませんでしたが、アフターケアの時期も大切であり、費用が予算化できれば効果的、具体的な計画ができると考えています。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

カメラを購入し、行事が重なっても使用できるようになり、思い出のある写真を増やすことができました。

大型洗濯機2台を買い替えた事で、各利用者の生活リズムに合わせ使用できるようになり、寝具類なども定期的に洗う事ができるので、衛生面での支援にも役立っています。

アフターケアは退所者(県外就職者)の都合に合わせて実施できたので、職場訪問し職場の方に挨拶したり、退所者とも食事をしながら話しができたので、効果的なアフターケアができました。

また、格安航空券を購入することができ予算面で余裕ができたので、Shinjo プロジェクト事務局の許可を得て、県内在住の退所者を招いての交流会を実施し、近況確認や励ます事もできました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

運営資金が厳しく、十分な環境整備ができない部分もありましたが、助成金を頂き、必要な備品を購入し整備する事ができました。

まだ十分ではありませんが、徐々に住環境が整備される事で、利用者も生活しやすくなっており、生活リズムを崩すことなく、喜ぶ声も多く聞かれました。生活リズムも安定し、仕事への意欲や喜びに繋がり、自立支援に大きく役立ち、利用者からも感謝の言葉も多く聞かれます。

アフターケアは必要な時期に必要な支援をする事が一番大切で、今回は対象者の状況や勤務先との調整を配慮した有意義なアフターケアを実施する事ができました。

対象者や職場での状況を確認できたことで、今後の支援に繋がっていきたいと思います。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

